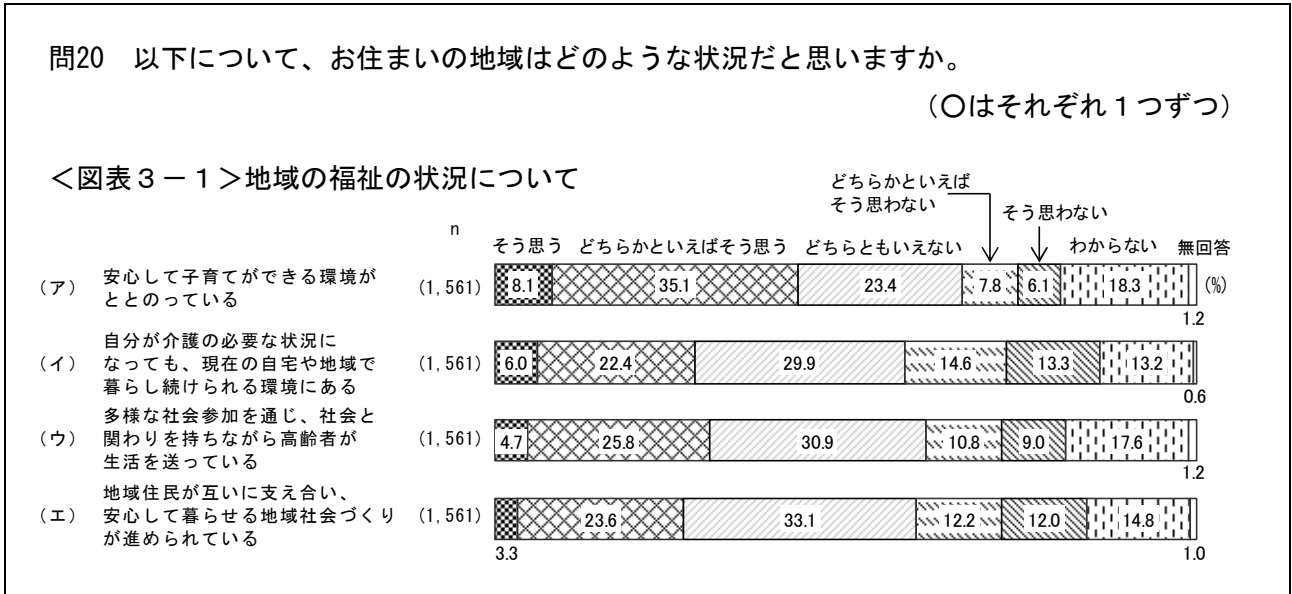


### 3 福祉について

#### (1) 地域の福祉の状況について

◇『そう思う（計）』が＜安心して子育てができる環境がととのっている＞で4割を超える



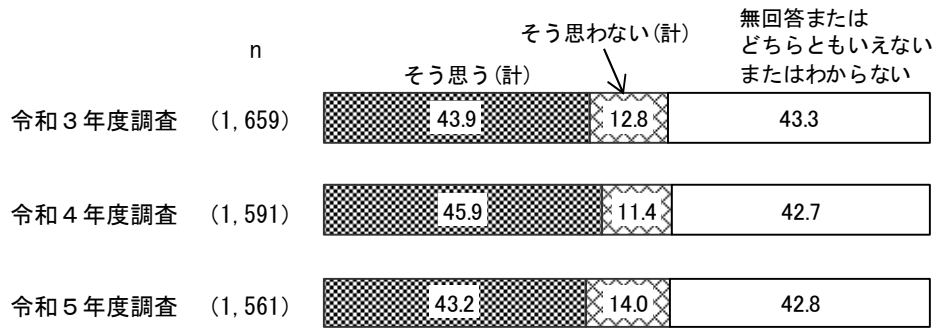
地域の福祉の状況に関する4項目について、お住まいの地域がどのような状況か聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う（計）』は、「(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている」(43.2%)で4割を超えており、「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」(30.5%)が3割、「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」(28.4%)が約3割となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない（計）』は、「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」(27.9%)で約3割となっており、「(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている」(24.2%)が2割台半ば、「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」(19.8%)が約2割となっている。

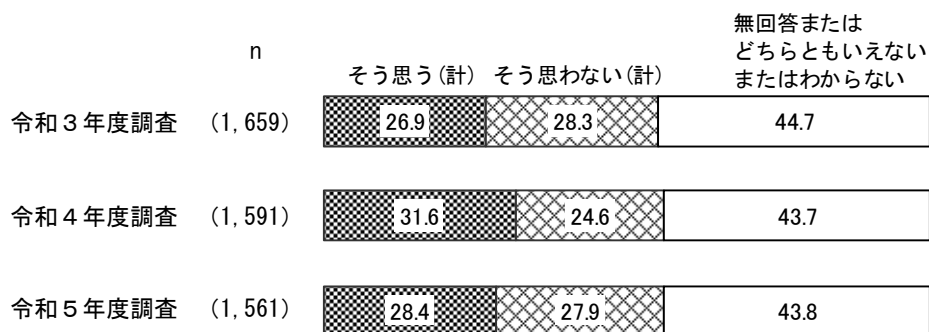
(図表3-1)

〔参考〕 令和3年度・4年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

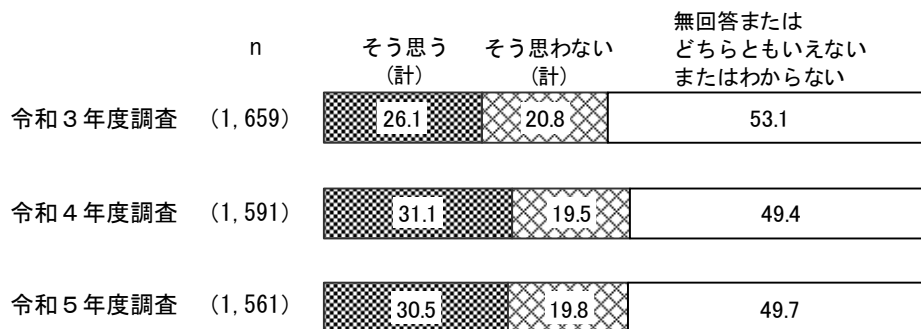
安心して子育てができる環境がととのっている



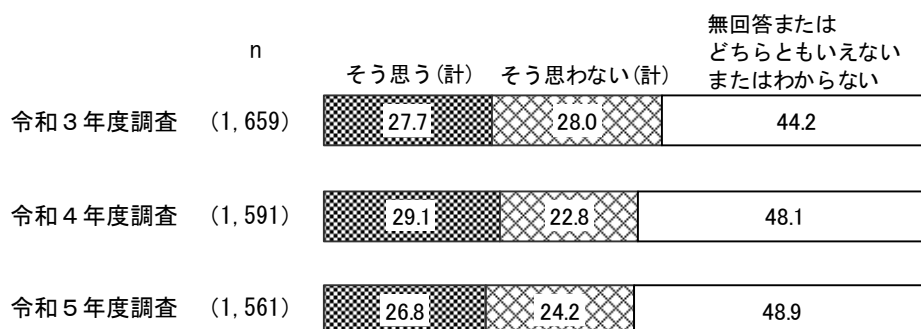
自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある



多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている



地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている



### 【地域別】

地域別にみると、「(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている」の『そう思わない(計)』は“海匝地域”(42.5%)が4割を超えて高くなっている。

「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」の『そう思う(計)』は“東葛飾地域”(34.2%)が3割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は“長生地域”(44.4%)が4割台半ば、“山武地域”(41.9%)が4割を超えて高くなっている。

「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」の『そう思う(計)』は“東葛飾地域”(35.0%)が3割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は“海匝地域”(35.0%)が3割台半ば、“山武地域”(32.6%)が3割を超えて高くなっている。

「(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている」の『そう思わない(計)』は“海匝地域”(47.5%)が約5割、“山武地域”(41.9%)が4割を超えて高くなっている。(図表3-2)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている」の『そう思う(計)』は男性の50代(54.2%)が5割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は女性の40代(23.4%)と女性の30代(23.3%)が2割を超えて高くなっている。

「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」の『そう思う(計)』は女性の75歳以上(38.7%)が約4割で高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は女性の30代(41.7%)が4割を超え、女性の40代(38.3%)が約4割で高くなっている。

「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」の『そう思う(計)』は男性の20代(45.7%)が4割台半ば、女性の75歳以上(38.0%)が約4割で高くなっている。

「(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている」の『そう思う(計)』は男性の50代(43.4%)が4割を超え、女性の20代(39.4%)が約4割で高くなっている。

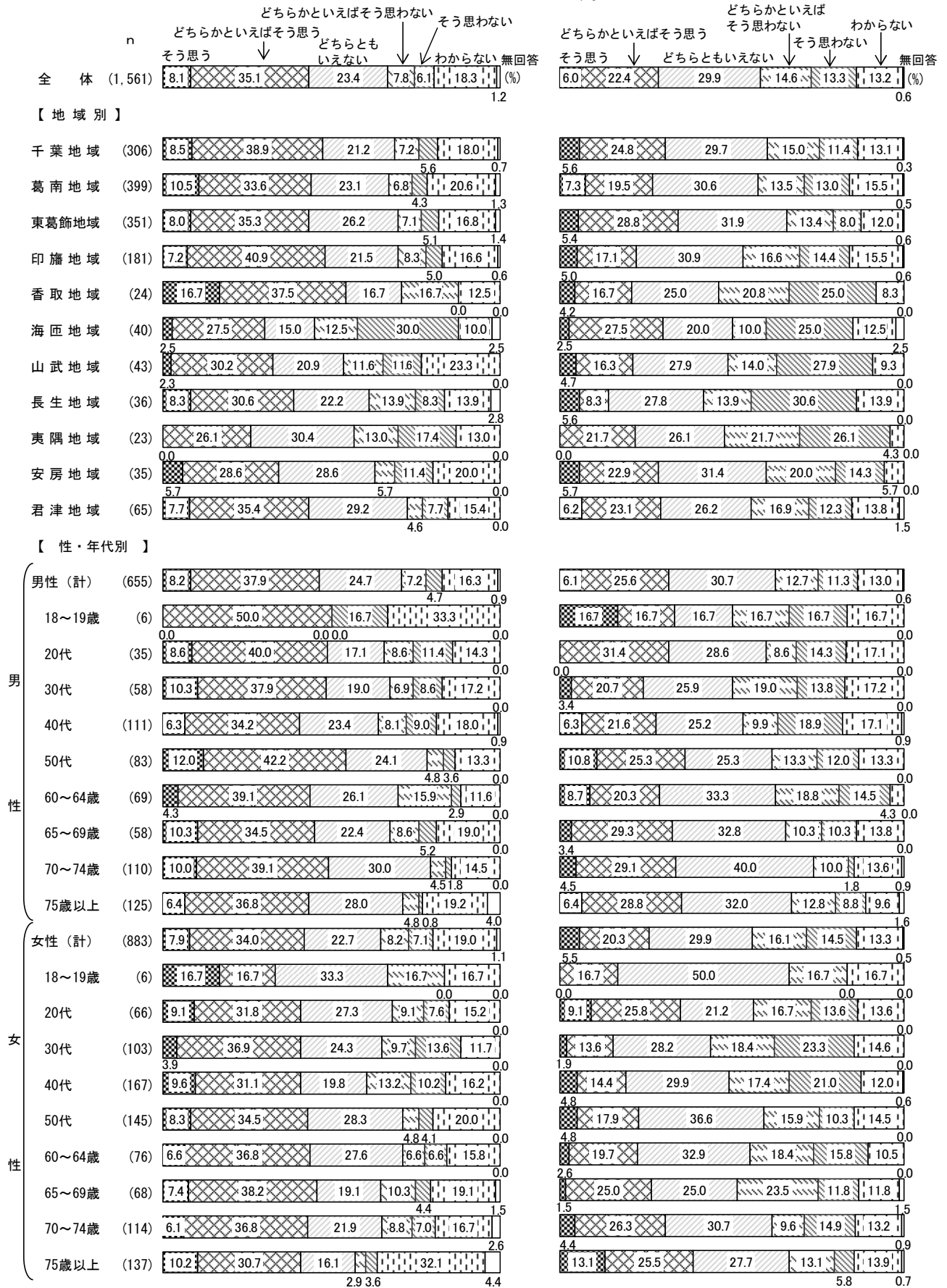
一方、『そう思わない(計)』は女性の60~64歳(35.5%)が3割台半ばで高くなっている。

(図表3-2)

<図表3-2>地域の福祉の状況について／地域別、性・年代別

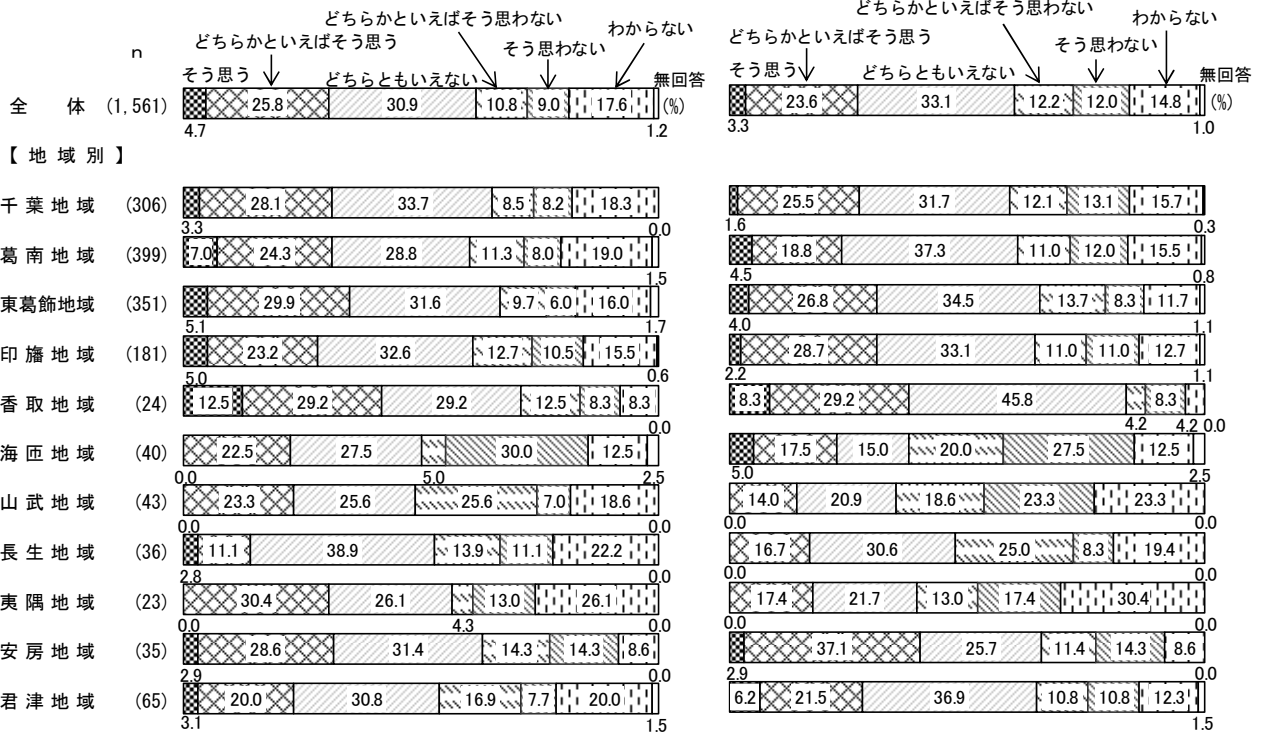
(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている

(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある

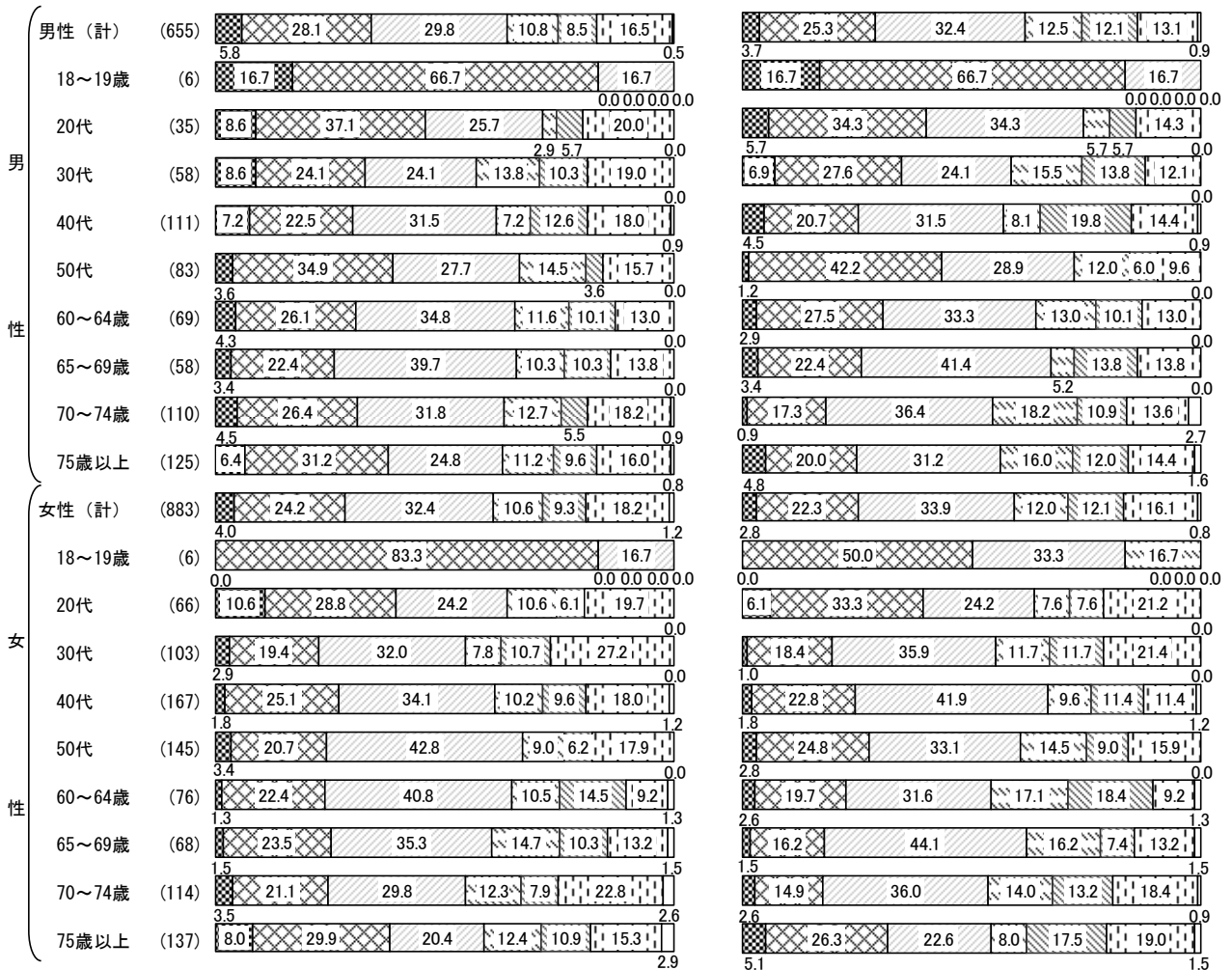


(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている

(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている

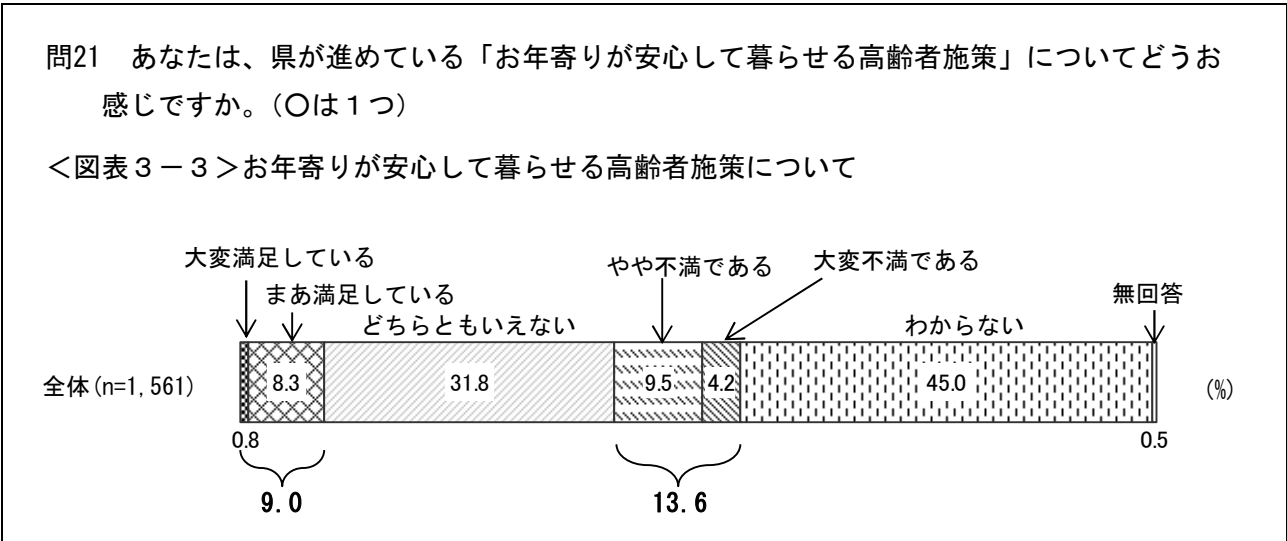


【 性・年代別 】



（2）お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について

◇『満足している（計）』が約1割

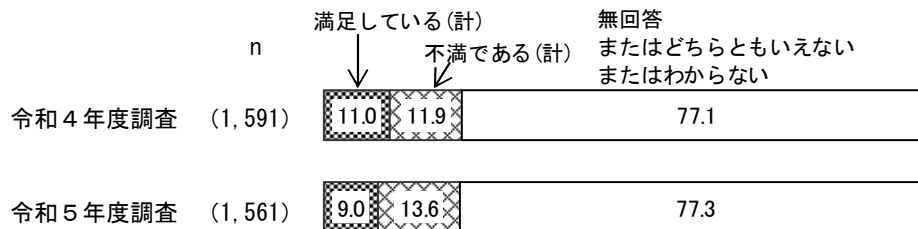


県が進めている「お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策」について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(0.8%)と「まあ満足している」(8.3%)を合わせた『満足している(計)』(9.0%)が約1割となっている。

一方、「やや不満である」(9.5%)と「大変不満である」(4.2%)を合わせた『不満である(計)』(13.6%)が1割台半ばとなっている。

また、「どちらともいえない」(31.8%)が3割を超えている。(図表3-3)

【参考】令和4年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



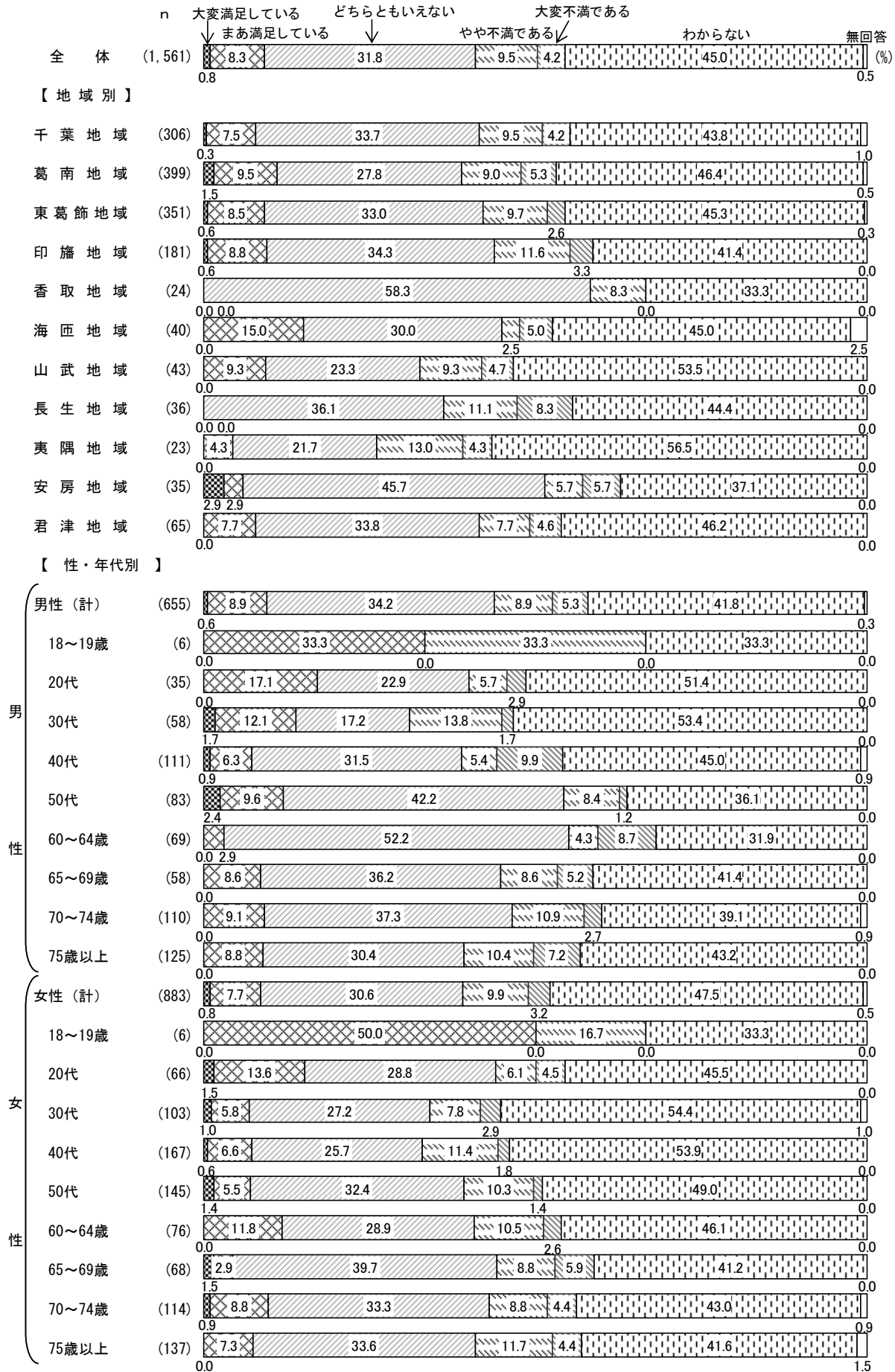
【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表3-4)

【性・年代別】

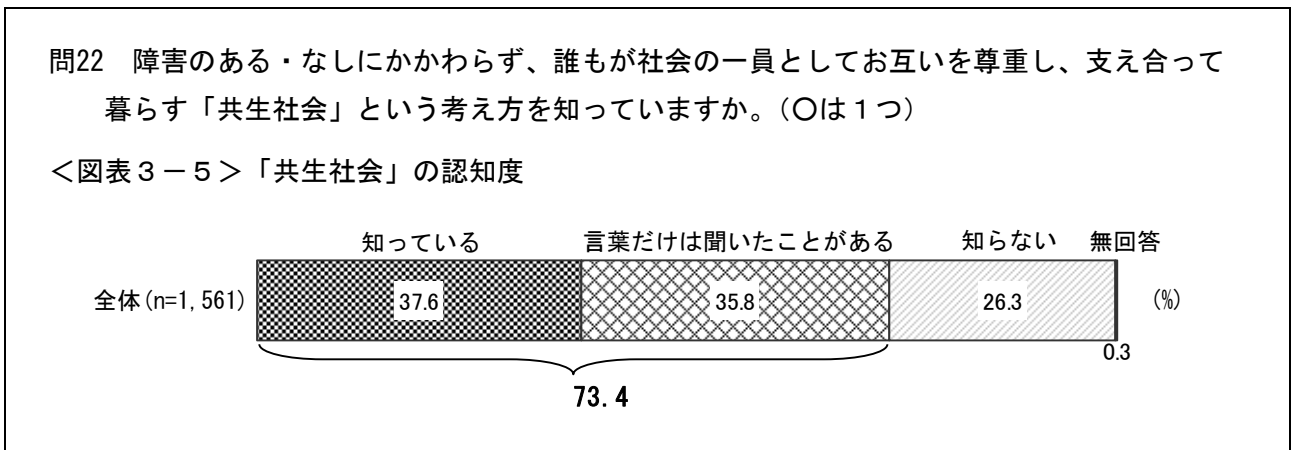
性・年代別にみると、「わからない」は女性の30代(54.4%)と女性の40代(53.9%)が5割台半ばで高くなっている。(図表3-4)

＜図表3-4＞お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について／地域別、性・年代別



### （3）「共生社会」の認知度

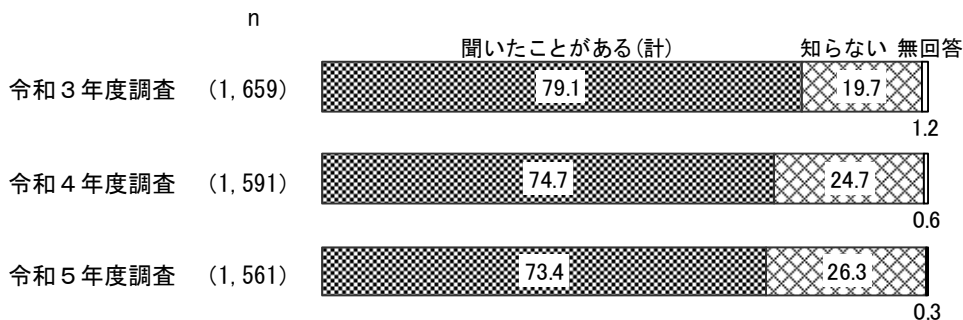
◇『聞いたことがある（計）』が7割を超える



「共生社会」という考え方を知っているか聞いたところ、「知っている」（37.6%）と「言葉だけは聞いたことがある」（35.8%）を合わせた『聞いたことがある（計）』（73.4%）が7割を超えている。

一方、「知らない」（26.3%）が2割台半ばとなっている。（図表3-5）

【参考】令和3年度・4年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



#### 【地域別】

地域別にみると、『聞いたことがある（計）』は“葛南地域”（77.2%）が約8割で高くなっている。

（図表3-6）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『聞いたことがある（計）』は女性の65～69歳（85.3%）が8割台半ばで高くなっている。（図表3-6）



<図表3-6> 「共生社会」の認知度／地域別、性・年代別

